

基礎物理学研究所

梓後 核融合専門部会より原子力委員会委員会委員後に行われる
谷中案のすり合わせの御返り頂きありがとうございます。小生が専門部
会後として部会の皆さんの御意見を総合判断致し
ました所とはいろいろの点で食い違っており、その中で
種々考慮の結果、改めて同封のような案として
みせました。
主な違いは、即座附の案では核融合の平和利用の
問題は現在おなじ基礎研究を最も重要視すべき段
階にあるという専門部会の判断が無視されている
点にあります。次にある力率委員会及び原子力局と
しては、中核土装置の建設に最も関心を持たれるのは
もつともとは思いますが、核融合の研究開発が今後
健全に行われてゆくためには、せなまことに研究費の
不足にせむ基礎研究の奨励が同時に進むべき

基礎物理学研究所

この不可成であろうと思ひますが、原子力予算による
より大型の装置の建設計画が文部省関係の研究
を促進しなさいようにする配慮は今から十分なされる
必要があると思ひます
以上私の意のあるところを御覧察下さい。同封の書状に
かえて添くよう御覧願ひ致し申す

八月八日

湯川秀樹

原子力局 御中